

平成21年度 多摩区協働推進事業 実施結果

I 安全で快適に暮らすまちづくり事業費	予算額 5,403,000円	決算額 5,361,401円
---------------------	----------------	----------------

事業名【担当課】	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
1-1 安全・安心まちづくり推進事業  【地域振興課】	<p>区民・地域、警察、行政が連携し、防犯、防火、交通安全、放置自転車対策等に取り組む推進体制を整備し、安全・安心に関する情報の提供、のぼり旗、パトロール用ベスト等の提供、路面表示の維持管理等を通じて、区民が安全で安心して生活できるまちづくりを推進することを目的としている。</p> <p>地域が一体となった地域防犯活動を強化し、犯罪抑止につながる取り組みを行う。また、子どもの非行防止と犯罪被害防止の両面からの取り組みや、女性の犯罪被害を防止する取り組みを行う。</p> <p>■事業対象：町内会・自治会、老人会、防犯協会、安全協会等 ■実施主体：多摩区安全・安心まちづくり推進協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>1 多摩区安全・安心まちづくり推進協議会のホームページの更新(年3回)</p> <p>2 パトロール用ベストの貸与(168着)、のぼり旗の貸与(ポール93本、旗153枚)(通年)</p> <p>3 必要箇所への路面表示や看板の設置と活用による地域環境の改善(通年)</p> <p>4 振り込め詐欺防止の啓発活動(通年)</p> <p>5 周辺駅で放置自転車、違法駐車対策キャンペーン(年延べ29回)</p> <p>6 防犯出前教室(万引き防止教室)の開催(延べ1,473人)(年10回)</p>	<p>近年、安全・安心なまちづくりは重要度が増しており、今後はさらに社会的な関心が高まっていく事業である。区としても、各種関係機関・団体と積極的な連携を図り、パトロール等の取組の強化と効果的な支援のあり方を検討していく必要がある。</p>	<p>予算額：1,878,000円 決算額：1,859,944円</p>
1-2 市民防災活動支援事業  【地域振興課】	<p>地域住民の防災意識の向上と地域防災活動の中心的な役割を担う自主防災組織の育成に努め、防災に関する実践的な講座や救急員養成講座のほか、防災フェアの開催、避難所運営会議の充実等を通じて、地域の防災力を強化することを目的とする。</p> <p>1 救急員養成講座開催事業 2 避難所物品補助事業 3 防災フェア開催事業 4 各種啓発事業</p> <p>■事業対象：市民 ■実施主体：多摩区自主防災組織連絡協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>1 救急員養成講座 2月16、18、20日に多摩区役所で開催(30人参加)</p> <p>2 避難所訓練活動 7月30日に合同運営会議を多摩市民館で開催(200人参加)、各避難所における運営会議は通年で延べ33回開催(延べ1,056人参加)</p> <p>3 防災フェア 12月3日に多摩区役所で開催(300人参加)</p> <p>4 各種啓発事業 区民祭での啓発物配布や指導者研修会(39人参加)、救急救命講座(38人参加)、防災実践講座の開催(101人参加)等</p>	<p>防災に対する市民の関心が高いことが改めて感じられたが、これを一部の人だけではなく、一人でも多くの市民に意識と知識を持ってもらえるよう自主防災組織を中心に関係団体と積極的な連携を図りながら、地域の防災力を強化する取組を検討していく必要がある。</p>	<p>予算額：2,055,000円 決算額：2,031,457円</p>
1-3 多摩区安全・安心マップ作成事業  【地域振興課】	<p>多摩区における防災防犯の様々な情報を多摩区民に情報提供し安全で快適にくらすまちづくり事業の推進に資するため、区民・地域や多摩消防と協働して、ガイドマップかわさき上に多摩区安全安心マップを構築することを目的としている。</p> <p>■事業対象：市民 ■実施主体：多摩区地域振興課 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成21年度</p>	<p>平成22年2月16日 インターネット上に「多摩区安全・安心防災マップ」開設</p>	<p>近年、安全・安心なまちづくりは重要度が増しており、多くの方が防災の観点から地域を点検するために有用である。</p>	<p>予算額：1,470,000円 決算額：1,470,000円</p>

Ⅱ 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり事業費

予算額 630,000円

決算額 443,229円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
2-1 パサージュ・たま事業  【地域保健福祉課】	<p>多摩区内の障害者団体並びに生活支援や就労支援を行っている障害者施設及び作業所等の普及啓発活動(活動紹介、作品の展示販売、作業実演、相談等)を通じて、多くの区民に障害福祉への理解と関心を深めてもらうとともに、障害者が地域社会とのつながりを持つことを目的として、月1回程度、区役所総合庁舎アトリウムを利用して開催する。</p> <p>市政日より、ホームページ、チラシの施設・作業所での配付等により広報を行う。</p> <p>■事業対象：区民及び区内在勤・在学者等                      ■実施主体：多摩区地域保健福祉課                      ■事業形態：直営、当初予定事業                      ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○ 『パサージュ・たま』の開催                      8月を除き、毎月1回程度、多摩区役所アトリウムにて年11回開催。延べ84団体が参加。平成22年3月18日には多摩区以外の団体も参加し、区を越えた交流及び啓発を行った。また、他区でも同様の試みが可能であるかという問い合わせがあり、12月の議会では、パサージュの開催経緯や成功理由に関する質問があった。</p> <p>○ 『パサージュ・たま』運営委員会の開催                      障害者と関わる18団体で構成し、年4回開催。実施結果の報告、開催日及び普及啓発方法などについて検討した。</p> <p>○ 広報の実施                      市政日より及びホームページには適宜掲載。チラシは開催当日及び各団体の施設・作業所、また保健福祉センター窓口にて配付している。</p>	<p>当該事業を実施することは、障害福祉に関する普及啓発の一環として有効である。同じ地域に住む住民と障害者がお互いに関心を持ち、理解しあうことは、充実した生活を送る上で重要であるが、障害者施設及び作業所が普及啓発活動を行える場はごく限られている。『パサージュ・たま』は、区民の多くが利用する総合庁舎のアトリウムを有効に利用し、障害者と多くの人々が直接関わりあえる場を提供している。また、定期的を実施することで、区民に対する周知も図られ、当該事業を目的に来庁する方もいる。</p> <p>当事者からは「作業を実際に見てもらえて嬉しい」「多くの人とのふれあいが次の仕事の励みになる」「毎月参加できる場があることが嬉しい」という声が多く、来庁者からは励ましの声や商品に対するリクエスト、次回の開催日に関する質問などがあった。作業所等からは「積極的に相手と関わろうとするようになった」「参加に意欲を示し、商品名や価格を覚えるようになった」「活動に対する大きな力になっている」などの声があり、定期的開催される当該事業に参加することで、当事者は従来以上の意欲と活力を持つようになっている。</p>	<p>予算額：260,000円                      決算額：179,590円</p>
2-2 健康づくり推進会議事業  【地域保健福祉課】	<p>多摩区の特徴を活かした場所、もの等により幅広い世代が交流し、食に対して、また健康づくりに対しての普及啓発を目的とする。</p> <p>○ 9月14～18日の多摩区健康いきがいフェスティバルにおいて講演会、食育交流会(10団体による食育報告)、パネル展示の実施。</p> <p>○ 9月20日多摩区民健康フェアにおいて普及、啓発、体験、相談を実施。(体脂肪測定と栄養相談(神奈川県栄養士会川崎支部と協働)、パネル展示、アンケートの実施)</p> <p>○ 10月24日 食育 in よみうりランド「豆腐づくり体験」の開催、大豆通信の発行。</p> <p>○ 11月18日 南生田中学校生徒を対象に、講演会「正しく食べるって、どういうこと？」開催、中学生へ食に対する意識調査の実施。</p> <p>○ かわさき育ちの“のらぼう菜”のチラシ、ファイルを作成し、小中学生や一般消費者等への配布。</p> <p>○ 2月、食育に関わるボランティアを対象に、講演会「地域ですすめる食育」とグループワークの実施。</p> <p>■事業対象：区民及び区内在勤・在住者                      ■実施主体：多摩区地域保健福祉課                      ■事業形態：直営、当初予定事業                      ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○ 9月の多摩区健康いきがいフェスティバル、多摩区民健康フェアでは、食育を中心とする普及啓発が実施できた。延べ人数、約3,000人参加。</p> <p>○ 10月の豆腐づくり体験は、38名の児童と保護者の参加が得られた。開催にあたっては、セレサ川崎農業協同組合、よみうりランド、生産者等の協働により行われた。</p> <p>○ 11月の南生田中学での講演会は、2年生91名、保護者18名合計、141名が参加。</p> <p>○ 2月の講演会は、区内の食生活改善推進員、食育リーダー、保育士、栄養士、調理師などの36名が参加し、食育推進の具体的な方法や意義について認識を深めた。</p> <p>○ “のらぼう菜”の普及啓発は、小中学生、JAセレサ利用者、まちづくり関係者、一般の方に幅広く広報し、新聞にものらぼう菜が掲載されるなどの効果があった。</p>	<p>区民の健康意識を高め、一人ひとりが健康づくりに向けて具体的な行動がとれるようにするため、広報、実践例の紹介、意味づけをする講演会、体験を取入れたイベント開催など、多角的に取り組むことは重要である。</p> <p>また、市政日よりやポスター掲示の広報は、多摩区が食を通じた健康づくりに取り組んでいることを広く区民に伝える効果もあった。</p> <p>多摩区健康いきがいフェスティバル、多摩区民健康フェアでは、食を中心とする正しい健康情報を発信することもできた。</p>	<p>予算額：370,000円                      決算額：263,639円</p>

Ⅲ 人を育て心を育むまちづくり事業費

予算額 16,165,000円

決算額 15,451,473円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
<p>3-1 親と子の集いの場づくり事業</p> <p style="text-align: center;">【こども支援室】</p>	<p>子育ての早い時期から育児不安の相談や近隣の仲間づくり等を身近な場で支援し、育児不安やストレスを軽減するとともに、地域子育て支援体制を紹介しネットワークへつなげていく機会とする。</p> <p>①「ママとあそぼうパパもね」事業 区内4地区を会場に公立保育園・民生委員主任児童委員・子育て支援センターにししゅくがわらとの協働により、子育てのフリースペースを開催し親子のふれあい・交流・育児情報・相談の場を提供する。</p> <p>②子育て安全マット・玩具貸し出し事業 区内の子育てグループ等の活動支援のため、安全マットや玩具を貸し出しこどもの遊びや保育活動の利用に供する。</p> <p>■事業対象：区内における乳幼児と親 ■実施主体：多摩区こども支援室 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>・平成21年4月～22年3月 4地区に分かれて各10回実施。約2,600人参加 会場名①すかいきつず(登戸地区)②生田道院(生田地区)③中野島こども文化センター(中野島地区)④菅こども文化センター(菅地区)</p> <p>・親子のふれあいとこどもに関わる身近な相談に応じた。また、歌や手遊び、体操、お誕生会等の催しを実施した。9月には「たまたま子育てまつり」にも参加し、881人が参加。 3月は各地区ごとにミニコンサート等の催しを開催した。</p> <p>・「子育てワンポイントアドバイス」等多摩区の子育て情報提供を随時発信した。 安全マットや玩具の貸し出しを行い、地域子育て支援事業への環境を整備した。</p> <p>・地域支援担当者会議 年間4回実施</p>	<p>21年度から地域の関係機関・団体と連携し、4地区3会場から4地区4会場に拡充して、年間計画に基づき各会場年10回づつ親と子の集いを開催できた。他に、たまたま子育てまつりの参加及びミニコンサート等も実施した。</p> <p>地域関連団体での協議も活発に行われ、会場提供や運営スタッフ等地域との協働が機能し、参加者の増加などにつながっている。</p> <p>核家族化の進行、近隣関係の希薄化など、子育ての孤立化の問題が深刻化している中で、孤立化を防ぎ仲間づくりや地域子育て支援ネットワークへとつながっていくことのできる本事業に対し、参加人数の増加からも分かるように区内親子のニーズは高まっており、地域との協働の中でさらなる事業の拡充が求められている状況である。</p>	<p>予算額：666,000円 決算額：632,459円</p>
<p>3-2 家庭で保育する親等の支援事業</p> <p style="text-align: center;">【こども支援室】</p>	<p>①こども支援啓発研修・講演会 地域住民や子育て支援機関・団体及び子育て中の親を対象に、こども・子育てに係る課題について専門分野の講師を招いた講演会等を開催し、理解を深めるとともに子育て支援の一助とする。</p> <p>②保育の寺子屋事業 家庭で育児している親子を対象に、親には育児・しつけ・家庭教育・父親参加等についての学習及び仲間づくりと交流の場、こどもには遊びと集団保育を経験する機会として連続講座の形で事業を実施することで子育て家庭を支援するとともに、地域子育て資源の活用及び支援ネットワークへつなげる機会とする。</p> <p>③子育て支援パスポート事業 区商店街連合会との協働により、子育てを通じた地域コミュニティの活性化や見守り体制を強化するとともに、子育て家庭の経済的支援と地元商店街の振興を図る。妊婦から18歳までの子育て家庭に発行し、協賛店でパスポートを提示すると割引など特典を受けることができる。</p> <p>④子育て支援アドバイザー事業「親育て・子育て支援者養成講座」 地域の子育て支援者を養成し地域の支援体制強化を図るとともに、区民が地域活動を始めるための機会提供の一つとするため、また、育児不安や虐待予防に対応するため親自身の養育力を養う機会の一つとして、子育て世代間のワークショップを中心に集中講座を実施する。(保育付き)</p> <p>■事業対象：区内の家庭で保育している親子 ■実施主体：多摩区こども支援室 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>①こども支援啓発研修 研修・講演会4回開催。10月「医師と自然写真家・2つの視点で命を見つめて」133名参加。11月発達障害に関する講演会「ちょっと気になる子どもの理解とサポート」・発達障害研修 計185名参加。1月「健やかな育ちを願って」70名参加</p> <p>②保育の寺子屋事業 委託先：特定非営利活動法人ままとんきつず 5月16日～3月6日の土曜日午前中に2コース計36回開催。132組の親子が受講。年齢別に子育てに関する学習・相談・交流と季節の行事を実施した。</p> <p>③子育て支援パスポート事業 委託先：多摩区商店街連合会 21年度新規発行数1,900世帯(トータル5,934世帯)、新規協賛店増加2店(トータル139店)。 生田緑地の3文化施設と協賛し入館料の割引きを実施。広報としてHPの更新や市政だより掲載、広報ちらし配布(区内中学校)。地域啓発として子育てまつりでの抽選会実施と多摩区商店街連合会とイベントの協働実施(子育てプレミアム商品券広報)。</p> <p>④子育て支援アドバイザー事業「子育て支援者養成講座」委託先：特定非営利活動法人ままとんきつず 6月5日～11月6日の金曜日午前中20回開催。27人修了。保育基礎講座、支援者養成講座、実習を実施。また昨年の修了者との交流会も実施し活動を支援(自主グループ、サポートセンター、療育センター保育ボランティア等)。</p>	<p>①こども支援啓発研修・講演会 地域住民や子育て支援機関・団体及び子育て中の親等の対象者別に、専門分野の講師を招き理解を深められた。参加申込みも多く、アンケートでも参加者の良い評価が得られた。</p> <p>②保育の寺子屋事業 父親の参加率も高く、アンケートでも高評価を得た。</p> <p>③子育て支援パスポート事業 協賛店だけでなく、公共施設である生田緑地の3文化施設の入館料の割引きなどサービス範囲を拡充した。自治政策推進委員会や専修大学特別講座での事業報告等、子育て支援の普及に努めた。多摩区商店街連合会への区長感謝状贈呈を行い、地域紙の掲載等、区民へのアピールともなった。</p> <p>④子育て支援アドバイザー事業「子育て支援者養成講座」 昨年度修了者との交流会や講座の中で実際に活動や関連団体のアピール、実習スタイルでの紹介を取り入れ、支援活動参加へのステップになった。</p>	<p>予算額：4,907,000円 決算額：4,860,614円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
3-3 こども総合支援連携事業  【こども支援室】	①幼・保・小連携事業 区内の公立幼稚園、保育園、小学校の連携を図り、一人ひとりの子どもの成長を一体的に支援するために、情報交換や教職員の保育体験等を実施し就学に向けて支援体制づくりを進める。 ②多摩区こども総合支援連携会議 区内のこども支援に係る市民活動団体・グループとこども関連施策実施機関(25団体)との協議の場を設け、子育て支援のネットワークを形成し、相互に連携調整機能の強化を図る。 ■事業対象：①区内の公立幼稚園・保育園・小学校 ②区内のこどもに係る機関・団体・グループ ■実施主体：多摩区こども支援室 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	①幼・保・小連携事業 5～7月授業参観、行事参観と意見交換・7～8月教職員保育体験・6/16・12/16実務担当者会議・2/26代表者会議・小学校就学予定者にちらしを配布。 ②多摩区こども総合支援連携会議 5月、10月、12月、2月の4回開催。各団体の地域での活動情報の交換や行政側の情報提供、課題解決へ向けての検討、地域の子育て支援に係る基本方針策定を行った。	① 幼・保・小連携事業として、小学校の授業・行事参観や情報交換会等で、保育士及び幼稚園教諭のべ382人の参加実績があり、幼・保・小連携の重要性について共通理解ができた。 小学校で「生活リズムをつくりましょう」配布。小学校教諭の保育園での保育体験を行い保育への理解を深めた。  ②当初予定の他に調査アンケート部会を3回(6月2回、9月)開催し、地域子育て課題の把握を行った。 会議の中で「多摩区こども支援基本方針」策定にあたって、地域課題の把握・検証、策定案の検討を行い、地域団体・関連機関とのネットワークの中で、基本方針を共通目標として策定することができた。	予算額：152,000円 決算額：132,257円
3-4 こども総合支援に係る広報事業  【こども支援室】	区内の子育て情報を収集・提供することで育児不安の軽減を図るとともに、子育て支援団体・機関等との情報面における連携の工夫等により、区民を地域の子育て支援体制へとつなげるとともに、子育て分野での地域コミュニティの活性化を図る。 (1)ホームページによる子育て情報発信事業 子育てカレンダー事業は、主に乳幼児期の親子が気軽に参加できる公開の広場型の催しを中心に、カレンダー方式で地域情報をリアルタイムに発信する。 (2)地域子育て情報の収集・広報及び交流支援事業 区内親子へ施策等も含む子育て支援情報提供を行い、また子育て支援団体に対しては地域への紹介・アピールでの支援として、各団体や催しの案内について掲示・配布、印刷等の広報支援を行っていく ■事業対象：区内の妊婦～子どもを持つ家庭 ■実施主体：多摩区こども支援室 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度	(1) ホームページによる子育て情報発信事業 ①多摩区子育てWEBのリニューアル 委託先：株式会社ウィルビーマーケット 妊娠・出産～子育て期の親子を対象として、子育て全般に関する行政情報・医療・地域支援情報等を体系的に紹介するホームページサイトについて、情報を再整理し、ハード面も含めてリニューアルを行った。 ②こどもカレンダー更新事業 委託先：特定非営利活動法人 ままとんきっず 年間を通し、隔月で情報提供を行った。 (2)地域子育て情報の収集・広報及び交流支援事業 「多摩区こども支援室のご案内」(A4両面カラー)を作成し区内小・中学校1年生及び子育て支援機関・関係者に配布し、業務案内及び相談窓口の紹介について広報を行った。 子育て団体等の広報について、掲示板やチラシ棚での広報協力を行った。	(1) ホームページによる子育て情報発信事業 ①多摩区子育てWEBのリニューアル リニューアルにあたって、対象内容が妊娠期～乳幼児期の親を中心としたものであったが、概ね18歳までの子どもも対象として提供内容を拡充した。他に、父親向け、働く女性、外国人への配慮、子育て豆知識、様式集等について、新規のページや内容の拡充を行い、併せて検索及びマップ機能を強化した。  ②こどもカレンダー更新事業 年間を通し、隔月で情報提供を行った。	予算額：1,021,000円 決算額：1,022,578円
3-5 こどもの外遊び事業  【こども支援室】	第1期多摩区区民会議の審議結果を受けて、生活環境や家族のあり方、ライフスタイルの変化に伴い、子どもを取り巻く環境も変化していることから、運動場や公園等の広場、周辺にある自然環境の中で子どもの創造力を培う「こどもの外遊び」を推進し、子どもの知育や子育てを楽しむ場を地域でつくることを目的とする。 ■事業対象：区内の子どもと保護者 ■実施主体：こどもの外遊び実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度	①7月27日(月)川崎国際生田緑地ゴルフ場 参加者約2,195人 ロープ遊び・木登り・ソリ遊び・魚とり等 ②8月30日(日)ニヶ領用水(せせらぎ館近く) 魚つかみ取り 参加者約362人 魚つかみどり、幼児は簡易プールで魚すくい ③10月25日(日)多摩区市民健康の森(日向山) 参加者 約40人 ネイチャーゲーム ④12月6日(日)生田小下校庭 参加者約108名 ロープ遊び・ベーゴマ・木工・かまどで焼き物等 ⑤1月11日(月)ニヶ領せせらぎ館 参加者約196名 凧作り・凧揚げ・そりすべり ⑥2月28日(日)明治大学生田キャンパス *雨天により中止	年4回から年6回へ、実施場所や回数を拡充して実施することができた。 地域の各団体等の協力や、近隣小学校の全家庭にチラシを配るなど広報の強化等で、参加者が増加した。参加者のアンケートからは、普段できないような体験や、何もない中で遊べる楽しみ等を経験できた、体験で得たことを日ごろの親子のコミュニケーションや日常生活に取り入れることも可能となった等、親からも高い評価があった。 子どもだけでなく子ども時代に外遊びをあまり経験してこなかった親世代も巻き込めたことによる新しい視点での評価もできた。地域関係機関団体との連携・協力体制が深まった。	予算額：800,000円 決算額：799,923円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
3-6 多摩区子ども支援基本方針策定事業  【子ども支援室】	区の総合的な子ども支援拠点として、多摩区の子ども・子育て支援施策を体系的に、調和をとりながら展開するため支援者が共通目標とする方針を策定する。	平成21年7月～8月に4,945人の区民を対象としたアンケート調査と5回12団体・機関へのヒアリングを実施。区の子育てに係る課題やニーズを分析し、連携会議で検討を重ね市の計画と整合させながら多摩区の子ども・子育て支援施策の基本方針(たまっ子プラン)を策定した。22年2月完成。	地域団体・関連機関とのネットワークとして、基本方針を共通目標として策定することができた。 ・多摩区の関係機関・地域の団体、NPO活動と行政が合意形成しながら、調査・ヒアリング・まとめ等の役割を担い“区民みんなで育てよう!”を合言葉に進めた結果、地域の課題の再認識や連携の必要性について意識が高まった。 ・ニーズ調査は、0歳から18歳までの親や中高生から実態・課題を把握し、特に市の次世代育成行動計画の調査と平行して、多摩区の地域活動への参加や愛着、必要な支援など身近な実態を明らかにできた。また、支援者のヒアリングはNPOやグループの実践者、地域の活動者、専門の支援者を対象にきめ細かな現状と提案を引き出し、連携への取組の方向性を示された。 ・今後に向けて、地域の子育てに関わる人の身近な目標として活用し、新たな活動を生むつなぎとして、また保護者を含めた子ども・子育て支援の目指す方針としてつくることができた。	予算額：3,200,000円 決算額：3,175,200円
3-7 たまたま子育てまつり  【生涯学習支援課】	多摩区内の子育て支援団体や市民グループと関係行政機関との協働により、子育てに関する情報交換と様々な交流事業を行うことにより、安心して子育てができる地域づくりと地域における子育てネットワークの充実をめざす。 子育て関連情報の提供、子育てに役立つ知識や技術の普及、リフレッシュして子育てを毎回楽しくできるようになるための支援、子どもたちが楽しく参加できる企画を実施する。 ■事業対象：子育て中の区民及び子育てに関心のある区民 ■実施主体：たまたま子育てまつり実行委員会 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	第7回たまたま子育てまつりの開催(負担先：たまたま子育てまつり実行委員会) ・日程：平成21年9月20日(日) ・会場：多摩区総合庁舎 ・情報ひろば(地域の子育て支援情報コーナー)、子育てサークルの活動紹介、AEDを使用した乳児・小児・大人の救急講演会、お父さんと子どものたまりバー、うきうきわくわくエンターテイメントショー、ダンボール基地で遊ぼう、スタンブラリーほか。 参加者数：約4,300人	少子化が進む中、子育て支援は、最重要課題の一つであるが、多摩区においても、児童虐待や育児の孤立化など、子育てをめぐる諸問題は深刻化しており、区内の関係機関と連携を図りながら、地域全体で子育てを支えていく環境づくりに取り組むことは、緊急性・重要性が高い。 情報ひろば(地域の子育て支援情報コーナー)を中心に子育てに関する、最新情報が集められているため、子育て中の親や子育てに関心のある区民が楽しく一日を過ごしながらか、自分に必要な子育て情報を手に入れることができると大変好評で、区民のニーズに応えている事業である。 多摩区内の子育て支援団体や市民グループと関係行政機関との協働により、まつりの企画・運営を行うことで、子育てを地域全体で支えていく、「子育てするなら多摩区」といえるような環境づくりに大きく寄与している。商店街も巻き込み、子育て当事者や若い世代の参画も少しずつ形になってきており、今後の事業展開に期待が大きい。	予算額：577,000円 決算額：576,537円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
3-8 幼児の発達支援事業  【保健福祉サービス課】	<p>「言葉が遅い」「多動」など、発達に関する不安や育てにくさを感じている幼児と保護者を対象に、楽しい遊びの体験を通して対象児にあった対応を一緒に考え、子どもの発達を促す支援を行う。また、保護者同士の交流を通して育児不安の軽減を図る。</p> <p>1歳半から2歳までと3歳からのグループに分け、保育士・心理職・言語聴覚士・体育指導員と共にそれぞれ月1回のグループ活動を行う。</p> <p>■事業対象：児の療育に困難さや心配を抱えている親子            ■実施主体：多摩区保健福祉サービス課            ■事業形態：直営、当初予定事業            ■開始時期：平成17年度</p>	<p>・「プーさんキッズ」1歳半児健診等で相談のあった母子を対象に実施 月1回 12回</p> <p>・「たま遊びの会」3歳児健診等で相談のあった母子を対象に実施 月1回 12回</p> <p>従事者の専門性を活かして発達の確認を行い、対象児にあった対応を助言し、育児不安の軽減を行った。グループは5回参加で卒業とし更なる支援が必要な場合は専門機関に繋げた。</p>	<p>・各健診で月6～10人程度発達に不安を感じている保護者がいる。個別相談の形態で実施している心理職による「幼児相談」は1人45分の相談時間の予約制で半日3人と人数の制限があるため、当該事業で補うことができた。</p> <p>・集団で遊ぶことで見えてくる、対象児の個性や課題を多職種で確認することで、保護者に対して適切な助言を行うことができた。また、同じような不安を持つ保護者が集まることで、子供の見方が変化したり、本音を話すことができ育児不安の軽減に繋がったという意見をもらえた。</p>	<p>予算額：1,272,000円            決算額：1,254,705円</p>
3-9 生きがいと楽しさを持つ子育て交流支援事業  【保健福祉サービス課】	<p>・親子が安心して乳幼児健康診査や予防接種が受けられる環境の整備をする。</p> <p>・孤立した育児環境の中で子育てにストレスを感じている親子が多いため、センター内外で、気軽に集まれる交流の場(サロン)を設け、集団遊びやグループワークを通して子育ての楽しさを体験する。</p> <p>■事業対象：区内の子育て中の親子            ■実施主体：区役所            ■事業形態：直営、当初予定事業            ■開始時期：平成15年度</p>	<p>・産後・3ヶ月児・1歳6ヶ月児・3歳児の健康診査(月各3回×12ヶ月)、BCG、ポリオなどの予防接種時の親子のサポート体制の整備。</p> <p>・地域ママズサロン：月1回センター内外(4地区)で楽しい親子の交流を目的に実施</p>	<p>・3～4か月児健診・1歳半児健診・3歳児健診・産後健診・BCG予防接種(月3回×12ヶ月)ポリオ予防接種(年10回)の各事業において保育士、ボランティアを配置し、母子をサポートする体制の整備ができた。</p> <p>・地域の子育てサロンや所内の子育て支援事業に保育士が参加し、子供とのかかわり方がわからない保護者をサポートすることで子育ての楽しさを実感してもらうと共に、楽しい体験の積み重ねから参加者の交流を図ることができた。</p>	<p>予算額：1,432,000円            決算額：1,387,200円</p>
3-10 体育指導委員スキルアップ事業  【地域振興課】	<p>多摩区体育指導委員が、各担当地域で健康づくりの推進役として活躍できるよう指導技術のスキルアップを図る。</p> <p>■事業対象：体育指導委員60名            ■実施主体：区役所            ■事業形態：全部委託、当初予定事業            ■開始時期：平成19年度</p>	<p>・参加者 多摩区体育指導委員            ・内容 聖マリアンナ式筋力アップ体操            ・開催回数 2回(2月10日、2月24日)            ・参加延人数 26人</p>	<p>体育指導委員が専門知識・技術を身につけることで、地域に貢献するための健康づくりに対する理解、技術の向上を図ることができた。</p>	<p>予算額：315,000円            決算額：157,500円</p>
3-11 多摩区・3大学連携事業  【企画課】	<p>区内に立地する3大学(専修・明治・日本女子大学)の知的資源及び人材を活用し、大学と地域社会が連携して、実践的な活動を展開することで、地域社会の様々な課題の解決を図るとともに、文教都市としてふさわしい地域社会づくりを目指す。地域の課題解決に向けたモデル的事業について、大学及び区役所からの提案や地域からの要望をもとに、多摩区・3大学連携協議会で協議したうえで、事業化を図り、大学へ委託する。</p> <p>■事業対象：専修大学・明治大学・日本女子大学及び区民            ■実施主体：3大学連携協議会            ■事業形態：全部委託、当初予定事業            ■開始時期：平成18年度</p>	<p>○「災害・防災に関する事業」実施委託(委託先：専修大学)            事業実施期間：平成21年6月～3月            中野島地域をモデルとして、防災マップと事業の過程をまとめた報告書を作成した。</p> <p>○「大学生×商店街の地域連携を考えるミニシンポジウム」(委託先：明治大学)            大学生と商店街の地域連携の取り組みを発展させるべく、その取り組みの第一歩として、先進事例に学びながら、これまでの取り組みの事例を発表して検討課題を議論した。            3月14日(日)</p> <p>○「川崎市における基盤地図情報の構築と学校教育ボランティア事業」(委託先：日本女子大学)            地図作成に関する地域レベルでの取り組みと学校教育ボランティア事業を組み合わせ、地図を利用した防災意識等について、区内小中学校と連携し児童・生徒に伝えた。</p> <p>その他、多摩区・3大学連携事業として、「2009多摩区3大学コンサート」、「多摩区3大学連携協議会インターンシップ(夏季・春季)」、「箱根駅伝応援事業」などを行っている。</p>	<p>3大学連携(多摩区・3大学連携協議会)は、多摩区の大きな特色である。多摩区・3大学連携事業の一環として、今後とも大学の知的資源や人材を地域の活性化に活かしていくことは、行政はもとより、大学及び地域住民にとっても、大きな意味を持っている。</p> <p>地域住民と大学(学生)がともに地域課題を考えることにより、地域活動等への関心が高まり、各事業に協働・参加した区民・関係団体からも、事業の継続を求める声が出るなど、当該事業は高く評価されている。</p>	<p>予算額：1,823,000円            決算額：1,452,500円</p>

## IV 環境を守り自然と調和したまちづくり事業費

予算額 6,027,000円

決算額 3,052,219円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果 (時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価 (成果)	事業費
4-2 まちかどアメニティ・花事業 【工事課】	<p>道水路の余剰地を活用し、地域に根ざした植栽帯の整備を協働で行い、整備後の植栽帯の管理については、自治会等の団体主導で行っていく。</p> <p>■事業対象：長尾町会管内区民及び道路利用者 ■実施主体：区役所 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成21年度</p>	<p>工期：平成21年8月5日から平成21年11月2日まで</p> <p>内容：道水路の余剰地に植栽帯を設置することにより、地域の美観向上を図るもの。</p>	<p>地域の美観向上及び不法駐車、不法投棄の削減に寄与しているため、事業目的に対する成果は十分に得られていると考える。また、町会の植栽維持管理活動を通じて、区民協働に係る意識向上にも寄与していると考えられる。</p>	<p>予算額：3,500,000円 決算額：2,992,500円</p>
4-3 カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略関連事業 【企画課】	<p>CCかわさき関連事業を地元商店街や市民活動団体などの協働により「多摩区役所打ち水プロジェクト」及び「イベントでのリユース食器を活用した取り組み」等を実施する。</p> <p>1 「多摩区役所打ち水プロジェクト」(7月～8月) 地元商店街や小学校と連携して実施し、区民への環境への意識向上を図るとともに地域コミュニティの活性化につなげる。</p> <p>2 「イベントでのリユース食器を活用した取り組み」生田緑地サマーミュージアムにおいてリユース食器を使用し、使い捨ての食器の「ごみ」の削減とイベントでの実践を通じて3R(リデュース・リユース・リサイクル)を基本とした循環型社会づくりの大切さを広く区民にPRする。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成21年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴーヤーの種子を配布</li> <li>・ 緑のカーテン大作戦</li> <li>・ 多摩区役所打ち水大作戦</li> <li>・ 多摩区役所職員「一人一エコ宣言」運動</li> <li>・ イベントでの地球温暖化対策の取り組み</li> </ul>	<p>全市的にカーボン・チャレンジかわさきエコ戦略(CCかわさき)に取り組んでいる中、多摩区においても、その基本的な考え方である「多様な主体の協働によりCO<sub>2</sub>削減の取り組みの推進」に基づき、CCかわさき関連事業を地元商店街や市民活動団体などの協働により「多摩区役所打ち水プロジェクト」や「イベントでのリユース食器を活用した取り組み」を実施することにより、CO<sub>2</sub>削減にもつながっている。</p>	<p>予算額：100,000円 決算額：59,719円</p>

VI 個性と魅力が輝くまちづくり事業費

予算額 12,093,000円

決算額 10,515,283円

(◎は新規事業、○は拡充事業)

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
6-1 観光振興・タウンセールス推進事業  【地域振興課】	<p>多摩区を豊かな自然や文化財と身近に触れ合える新しい観光エリアとして広報宣伝し、川崎市のイメージアップを図りながら観光客の誘致に努めるため、多摩区観光推進協議会と連携して賑わいと魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>観光事業の発展及び観光客の誘致を図るためのキャンペーンを円滑・効率的に推進し、区内の観光・商業・文化等に関する団体及び個人並びに区民の連携・連帯の促進を図る。</p> <p>■事業対象：区民、近郊都市住民 ■実施主体：多摩区観光推進協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>・多摩区観光の魅力発信事業(芸協らくごまつりでのPR、第32回多摩区民祭でのPR)</p> <p>・観光ガイドブック発行事業(多摩区観光ガイドブック「はなもす」発行)</p> <p>・戦略観光ポスター発信事業(JR 首都圏主要駅観光誘致ポスターの掲出、観光情報ホームページの整備(音声ガイドの発信、観光情報の更新))</p> <p>・地域観光・商業基盤整備支援事業(地域の団体・組織が主催している伝統芸能の披露やイベント開催などで、観光資源となりうる行事・イベントに対して、その宣伝ポスターやチラシの製作等によって支援)</p> <p>[支援した主な行事]</p> <p>・多摩川桜のコンサート(4月) ・長尾の里あじさいまつり(6月)</p> <p>・民家園通り商店会夏まつり(7月) ・菅の獅子舞(9月) ・武州稲毛七福神めぐり(1月)</p>	<p>・豊かな自然や文化施設等の観光資源が集積している多摩区においては、既存の観光資源を活かし、区の魅力の情報発信・広報宣伝等の取組を行ない、交流人口の増加、賑わいのあるまちづくりを推進していくことが必要である。また、観光の切り口から多摩区の魅力発信する事業は重要である。</p> <p>・事業推進にあたっては、多摩区観光推進協議会のメンバーとの連携・協力により、事業費の削減を図り、効率的な手法を検討しながら事業を推進した。</p> <p>・各種の地域イベントや施設において、観光推進協議会がPR活動やポスター等の掲出といった支援を行なうことによって、その集客効果が対前年比で伸びている等、一定の効果を上げている。</p>	<p>予算額：4,915,000円 決算額：4,890,370円</p>
6-2 「音楽のまち・かわさき」多摩区事業  【地域振興課】	<p>市の施策である「音楽のまち・かわさき」を多摩区でも推進するため、身近に音楽芸術へ触れる機会を提供するとともに、広く区民に多摩区の魅力や活動等をアピールすることを目的として音楽事業を開催し、さらなる地域の文化環境の向上と意識の醸成を目指す。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：「音楽のまち・かわさき」多摩区事業実行委員会 NPO法人多摩川エコミュージアム ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成16年度</p>	<p>(時期、内容、委託先)</p> <p>①たまアトリウムコンサート</p> <p>・日程 奇数月の第3水曜日</p> <p>・会場 多摩区総合庁舎1階アトリウム (計6回開催、来場者：延べ900人)</p> <p>②駅前広場等コンサート</p> <p>・日程 7月4日(土)</p> <p>・会場 長沢ひろば (来場者：50人)</p> <p>③夕涼みコンサート</p> <p>・日程 8月9日(日)</p> <p>・会場 二ヶ領せせらぎ館下河川敷 (来場者：700人)</p> <p>④子育て応援コンサート</p> <p>・日程 9月20日(日)</p> <p>・会場 多摩市民館ホール (来場者：500人)</p>	<p>区内には音楽を愛好する市民によるアマチュア合唱団、吹奏楽団等が多く存在しており、音楽活動が活発に行われている。このような区民の音楽活動を支援し、音楽活動による地域の活性化を図るために区民へ音楽芸術に触れる機会を提供する事業を推進することが必要である。また、区内に存在する多くの人材を活かし、身近な場所で音楽関係者によるイベントを開催することにより多摩区に「音楽のまち」として魅力あるイメージを定着させ、地域の活性化を図ることが重要である。各イベントにおける参加者数、参加者の反応、アンケートの内容等から、年々当事業の存在は区民へ浸透してきており、区民の興味をひく内容となってきたことが伺える。</p> <p>さらに、当事業は地域に住む区民と協働して行うため、区民のニーズをつかむことが容易であり、新たな地域人材の発掘についても効率的である。</p>	<p>予算額：3,056,000円 決算額：2,232,408円</p>
6-3 多摩まちかど祭  【地域振興課】	<p>区民相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人ひとりが舞台運営の担い手となれるステージショーを区民祭の会場で開催し、地域コミュニティの形成に役立てる。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：多摩まちかど祭実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成3年度</p>	<p>多摩まちかど祭(多摩区民祭と同時)</p> <p>・時期 平成21年11月14日</p> <p>・内容 区民祭の会場内に設置し、伝統芸能や一般参加者によるダンス、コーラスの披露の場となった。</p>	<p>地域に根ざしたより身近な場所において、舞台公演をすることで、区民に文化芸術の発信、交流、鑑賞の場を提供し、地域コミュニティの形成に役立っている。</p>	<p>予算額：800,000円 決算額：799,840円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
6-4 多摩区イメージアップ事業  【地域振興課】	区のイメージアップを図り、区民の郷土に対する愛着を育むための住民参加によるまちづくりや、都市間の交流による住民相互の友好を深め、ふれあいのある地域社会の創造を推進する。 区民との協働により、上記の目的に沿った各種事業を行なう。 ■事業対象：区民 ■実施主体：多摩区イメージアップ委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成8年度	・区の魅力紹介事業：登戸駅ペDESTリアンデッキバナー事業、多摩区コミック作成事業(通年) ・花と緑の普及促進事業：記念植樹(1月)、区の花・木普及(通年) ・区民関連事業：南房総のさかな料理教室・花料理教室(9月、2月)、物産交流事業(10月)	・区民の協働に対する愛着や連帯意識を育み、住民参加によるまちづくりを推進するためには、区のイメージアップを図る事業の継続は必要である。 ・区民参加の各種事業は、アンケート結果でも好評を得ており、多くの区民が応募、参加している。 ・今後は、費用対効果を考慮しながら、より多くの区民が参加できる事業を展開し、多摩区のイメージアップの推進を図る。	予算額：1,257,000円 決算額：995,753円
6-5 生田緑地エントランススポット管理運営事業  【企画課】	多摩区では、生田緑地等を主体とした観光推進に取り組んでいるところであり、その玄関口となる生田緑地エントランススポットについて、区内における大学の協力を得ながら、直営により維持補修を実施するほか、ポスター展示者からも多くの要望が寄せられている高ベンチのパネルに係る耐久性・耐水性の改善について、同大学との協働により、フィールドワークの機会を提供する形で監理を委託して実施する。 ■事業対象：主に区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	エントランススポットに設置したベンチ等の整備(補修)のための器材を購入し、適切な管理を行った。	生田緑地エントランススポットは、生田緑地の活性化やまちづくりの視点から、生田緑地への玄関口として設置されたもので、設置から4年が経過するエントランススポット内にあるベンチなどを管理・補修することを目的に実施し、美観の確保及び当該施設の劣化防止につながった。さらに、当該施設を適切に管理することにより、生田緑地への案内や観光客への休憩場所として観光推進に大きく貢献できた。	予算額：134,000円 決算額：54,249円
6-6 ミニ水族館の維持管理  【地域振興課】	多摩区役所を安らぎと潤いのある環境にするとともに、郷土の多摩川をより身近に感じてもらうため、多摩川に生息する魚類を総合庁舎1階アトリウムに設置した水槽で飼育し、ミニ水族館として来庁する区民向けに展示する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成2年度	多摩区総合庁舎1階アトリウムにおいて多摩川に生息する生き物を飼育する水槽を2基設置し、年間を通じて来庁した区民が身近に鑑賞できる場を提供した。	当事業は多摩川に生息する生物を紹介し、多摩区のキャッチフレーズである「水と緑の多摩区」の象徴である多摩川について、区民に理解と愛着を深めてもらうとともに、多摩区総合庁舎を温もりと潤いのある環境としていくことから実施するものである。 多摩川に生息する生き物を庁舎内に展示することは良好な自然を次世代に継承していく意識を育み、郷土に対する愛着や連帯意識を醸成するためにも重要である。親子連れが水槽を覗いている姿がよく見られ、区民が多摩区の自然への理解を深め、行政施設を身近に感じられるきっかけとなっていると思われる。	予算額：945,000円 決算額：945,000円
6-7 水辺の愛護活動事業  【地域振興課】	憩える緑豊かな水辺づくりの観点から市内河川の6割を超える水郷という地域特性を守り育み、区民の環境愛護活動を推進するため、町内会や商店街、子ども会、市民団体、学校、事業者で流水の支障となるゴミの回収、堀の草刈、自転車の整理などの愛護活動を協働で実施する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度	○五反田川 水辺の愛護活動 ・実施時期 平成21年8月22日 ・実施場所 五反田川(小田急生田駅付近) ・実施内容 流水の支障となるゴミの回収等の環境愛護活動(消耗品：ゴミ手袋 軍手 火バシ) ○二ヶ領用水宿河原線 水辺の愛護活動 ・実施時期 平成21年9月27日 ・実施場所 二ヶ領用水宿河原線(東名高速道路高架下～新船島橋) ・実施内容 流水の支障となるゴミの回収等の環境愛護活動	多摩区内の貴重な資源である河川・水路を、町内会・自治会、商店会、子ども会、市民団体等が参集し、環境愛護活動を実施していくことで、地域における緑豊かな水辺づくりに繋ぐことができた。	予算額：286,000円 決算額：95,519円
6-8 郷土芸能推進事業  【地域振興課】	多摩川流域郷土芸能フェスティバルは、かけがえのない貴重な資源である多摩川を多くの人々に親しんでいただき、関心をもってもらうために多摩川流域に根付き、伝承されている郷土芸能を一同に集めたフェスティバルを開催し観光・商業の振興を図っている。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成21年度	・実施時期 平成21年12月6日 ・実施場所 多摩市民館ホール ・実施内容 多摩川流域郷土芸能フェスティバル	多摩川流域に根付いている郷土芸能を、フェスティバルとして開催することで、多くの方々に多摩川への親しみや関心を持ってもらうことができた。	予算額：100,000円 決算額：100,000円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
6-9 多摩川音頭誕生80周年事業  【地域振興課】	多摩川音頭の誕生80周年を記念し、第10回多摩川流域郷土芸能フェスティバルや多摩区文化協会設立40周年記念行事等において、記念展示等の事業を実施し、川崎の“ふるさと音頭”の普及に役立てる。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成21度	・多摩川音頭手ぬぐいの作成 ・平成21年12月6日第10回多摩川流域郷土芸能フェスティバルにおいて写真パネル展を開催	多摩川音頭80周年の記念事業として実施し、多摩区の郷土芸能に親しむ機会を区民に提供することができた。	予算額： 600,000円 決算額： 402,144円

Ⅶ 参加と協働による市民自治のまちづくり事業費

予算額 10,989,000円

決算額 8,428,473円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
<p>7-2 磨けば光る多摩事業</p> <p style="text-align: right;">【企画課】</p>	<p>区における地域課題の解決や、安全で安心・潤いのある暮らしの実現に向けて、区民が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを区の事業として位置付けたうえで、提案者に委託する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■事業対象：区民</li> <li>■実施主体：区役所</li> <li>■事業形態：一部委託、当初予定事業</li> <li>■開始時期：平成18年度</li> </ul>	<p>①めだかの地域大学 地域住民に対して、保健・医療・福祉などの情報の提供や、住民が日ごろから練習していることの発表など、合計11回の講演や演奏会を行った。</p> <p>②使用済みてんぷら油回収による資源循環モデル事業 毎月第3水曜に区役所・生田出張所・建設センター及び当該事業に賛同いただいた区民の協力を得て、個人宅も回収場所に指定し、合計9回の回収を行った。また、資源循環型ライフスタイルの講演や回収した油から作られた石けんを使用したクリーニング講座などを実施した。</p> <p>③地域循環型マーケット「たま楽市」とリユース食器促進活動事業 8月に「生田緑地サマーナイトミュージアム」、8月と10月に「登戸東通り商店街わくわくナイトバザール」にてリユース食器使用の啓発を行った。また、地域通貨『たま』を使用した「たま楽市」を開催し、地元農家の野菜販売や不用品、手づくり雑貨を販売して地域内循環型マーケットの啓発を行った。</p> <p>④妊婦体験・赤ちゃんとのふれあい体験定着事業 多摩区内6校(中学校5校、小学校1校)で、助産師による講演会、妊婦ジャケットを使用した妊婦体験、赤ちゃんとのふれあい体験、ベビーカー体験等を行い、小中学生がいのちの尊さや大切さを学ぶ機会を設けた。</p>	<p>地域における課題が多様化し複雑化していることから、市民活動団体のノウハウを生かすことにより、区民提案事業を実施した。また、提案事業の審査については、公開プレゼンテーションを実施し、事業終了後に報告会を実施して評価・検証することにより、事業の透明性の確保及び今後の事業を実施するうえでの改善点などを明確化することができた。さらに、市民活動団体と協働で実施することにより、市民活動の活性化を図り、区民と行政との協働のしくみづくりの推進につながった。</p>	<p>予算額：2,308,000円 決算額：2,174,013円</p>
<p>7-3 まちづくり推進事業</p> <p style="text-align: right;">【地域振興課】</p>	<p>多摩区民の自主的活動組織である多摩区まちづくり協議会が、市民活動団体では担えない中間支援的かつ公共的な役割を実現するとともに、区民と連携を図りながら区内のまちづくりに関する課題の提起及びその解決のための実践を川崎市と協働して行う。活動内容は、次に掲げるとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに関する活動の情報を交換する場づくり</li> <li>・まちづくりに関する活動を支える活動拠点の整備</li> <li>・まちづくりに関する活動を支える情報の調査、収集及びこれらから得られた情報の区民等への提供</li> <li>・まちづくりに関する意見、川崎市から提示されたまちづくりに関する課題等の協議及び検討</li> <li>・まちづくりに関する課題を解決するための企画及び区民等との協働によるその実践</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■事業対象：多摩区まちづくり協議会委員及び区民</li> <li>■実施主体：多摩区まちづくり協議会</li> <li>■事業形態：全部委託、当初予定事業</li> <li>■開始時期：平成12年度</li> </ul>	<p>平成20年度から各市民団体と意見を出し合い、検討を重ねてきた多摩区の課題について、具体的な解決への取り組みとして6つのプロジェクト活動をスタートさせ、随時メンバーを募りつつ、実地調査・情報収集や勉強会の開催等具体的な活動を行った。</p> <p>平成21年9月に様々な団体との交流と意見交換を目的に21団体が参加した「たまサロン」を開催し意見交換を行い、11月には先進的な取り組みを実践する他都市の事例について調査研究するため、藤沢市への視察研修を実施した。平成22年2月には、第1期のプロジェクト活動を一般市民に広く周知することを目的に、まちづくり活動発表会「まちカツ」を開催し、講演会とともに各プロジェクトの活動報告を行った。</p> <p>また、年4回広報紙を発行し、行政施設だけでなく民間施設にも配架し、多摩区まちづくり協議会の活動の紹介を中心に、市民団体の情報も発信しているところである。</p>	<p>行政と市民との協働型社会の実現に向けて、区民や各市民活動団体の連携を図る中間支援的な役割を担い、幅広い区民の意見を取り入れた活動を行う等、行政との協働による市民活動組織として経験を積んできた多摩区まちづくり協議会によるまちづくり推進事業は必要と考えられる。</p> <p>今後も区民の主体的な参加による問題提起やその解決のための実践活動を行う場として、また新しい地域人材の発掘・育成の場としても重要である。</p> <p>毎年継続して実施してきた意見交換会「たまサロン」をきっかけとした市民団体同士のつながりもできつつあり、幅広い区民の意見を取り入れた結果として企画された6つのプロジェクトについても、中間支援的な役割を重視した内容となっており、公共的な役割を担う組織としての活動の基盤を形成しつつある。</p>	<p>予算額：4,314,000円 決算額：3,908,480円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
7-4 市民活動支援コーナー運営事業  【地域振興課】	地域課題解決に向けた市民活動団体による活動が活発に行われる中、多摩区内で非営利の社会的貢献活動をしている区民団体や個人の活動を側面から支援することを目的として、印刷や資料づくり等に必要な備品等を備えた「多摩区民活動支援コーナー」を多摩区総合庁舎に設置し、登録した団体及び個人に対し、利用開放する。 ■事業対象：区内で活動する市民活動団体 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成13年度	多摩区役所7階の会議コーナー、印刷・作業コーナー及び多摩区役所6階の薬事センター小会議室及び多摩区役所1階の情報コーナーを「多摩区民活動支援コーナー」として、利用登録を行った団体に対し、無料で利用開放した。 また、活動支援コーナーをより充実した市民活動の拠点とするため、利用登録団体からの推薦委員によって構成される「多摩区民活動支援コーナー検討委員会」において、活動支援コーナーの機能等について協議・検討を行った。	地域の課題解決の主体として市民活動の役割が増す中、区内の市民活動をより充実させるために、市民の活動しやすい環境づくりや市民の自主的な活動に対する支援が必要である。市民活動をより充実させることは市民自治の観点から区民、行政ともに大きな意味をもたらすものであり、行政によるこれら市民活動の側面的支援は重要であると考えられる。また、市民活動を活発化させることを目的として、施設及び機器の無償提供並びに地域拠点の整備等の活動支援を行政が担うことは、市民自治を推進する観点においては効率的な方法である。	予算額： 1,336,000円 決算額： 1,228,040円
7-5 区民活動情報ひろば事業 ※区民会議関係  【企画課】	第1期区民会議の提言を受け、区民の豊かな暮らしを実現するため、多摩区の地域情報を区民が提供・交流し合う場である「区民活動情報ひろば」を構築する。 具体的には、市民活動・市民コミュニティーの活性化、及び団塊世代の抱負な知識と経験を生かす場の創出を目的として、多摩区における市民活動団体・グループに関する活動情報を視覚的に分かりやすく構造化したパンフレット、「区民活動情報ひろばマップ」を公募の編集委員と協働で作成する。「ひろばマップ」への掲載募集業務にあたっては、中間支援組織に委託する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度	「区民活動情報ひろばマップ」への掲載団体の募集については、多摩区内の市民活動団体と多彩なネットワークを持ち、中間支援組織として活動をしている市民活動団体に委託した。結果として100団体以上から掲載依頼があり、効果的かつ効率的に掲載団体を募集することができた。編集においては、公募の編集委員とともに編集委員会を数回開催して仕様を検討し、視覚的に分かりやすいパンフレットを作成することができた。	第1期区民会議の提言は、「区民が市民活動に興味を持って、どんな団体が活動しているのか手がかりがつかめない」、「すでに活動をしていて仲間を増えることを願ってもうまいかない」等の委員の現状認識が出発点となっていたが、主に区内で活動する市民団体の掘り起こしができた。掲載団体の募集については、当初直営で行っていたが、中間支援組織に委託したことで効果的かつ効率的に団体を集約することができた。また、編集業務は区民会議の提言に従い、公募の委員と協働で行ったことで、区民の目線により分かりやすい仕様のパンフレットを作成することができた。	予算額： 452,000円 決算額： 330,400円
7-6 窓口サービス改善推進事業  【区民課】 【保険年金課】	平成16年にISO9001を認証取得後、市民の求める質の高いサービスを、継続的に維持する必要がある、そのために要する窓口環境整備費用として、区民課・保険年金課の窓口において実施する。  ■事業対象：来庁市民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成15年度	窓口の発券機を維持管理するための消耗品の購入や修繕の費用。事務手続き「案内カード」作成のためのカラープリンター用インク代。 多摩区役所窓口サービス改善検討会議事務局として、紙の購入。保険年金課のシュレッダーの修理。	本事業は、区民課のISO認証取得に伴い、質の高い市民サービスを継続的に維持していく必要性から始まり、更に現在、区役所全体の窓口サービスの改善を推進する事業となっている。「川崎再生フロンティアプラン」の区行政改革の推進における『市民に便利で快適なサービスを効率的、効果的かつ総合的に提供する区役所』という実行計画の方向に基づき、今後とも展開していく予定である。よって、本事業は、区役所サービス向上を図る上で、必要で重要な事業である。 また、この計画は区役所快適化リフォーム事業と整合性を持たせながら推進し、窓口サービス機能再編を見据えた事業展開を予定している。さらに、ソフト面にも配慮した改善を行っており、案内カードや総合庁舎案内の作成といった市民の目線に沿った改善が実施されつつあるといえる。	予算額： 497,000円 決算額： 450,490円
7-7 多摩区役所ホームページ更新事業  【企画課】	区役所組織の変更や各課の事務事業内容の変更、新規事業等の追加など、最新情報を網羅し、また区の魅力発信によるイメージアップや利用者の使いやすさの向上を図るため、ホームページを更新する。 ■事業対象：ホームページを閲覧する市民、ホームページ更新に携わる職員 ■実施主体：区役所 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	○組織変更に伴って、フロアマップ、アクセス地図等の作成委託を行った。  ○他の所属へホームページ作成の育成をおこなった。	区民がホームページから、行政情報入手する機会が多いのは、電話での問合せや各事業でのアンケートなどからも伺える。今後、その重要性はますます高まるものと思われる。ゆえに、ホームページのさらなる内容の充実が求められている。	予算額： 473,000円 決算額： 337,050円

VIII その他経費 共通事務経費	予算額	657,000円	決算額	429,314円
緊急対策事業費	予算額	3,821,000円	決算額	0円

(◎は新規事業、○は拡充事業)

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果 (時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価 (成果)	事業費
共通事務経費	協働推進事業の共通事務経費	○協働推進事業で共通に必要な物品 (印刷機インク等) を購入した。		予算額: 657,000円 決算額: 429,314円
緊急対策事業費	緊急の事態に対処するための予備費			予算額: 3,821,000円 決算額: 0円

I 安全で快適に暮らすまちづくり事業費	予算額	5,403,000円	決算額	5,361,401円
II 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり事業費	予算額	630,000円	決算額	443,229円
III 人を育て心を育むまちづくり事業費	予算額	16,165,000円	決算額	15,451,473円
IV 環境を守り自然と調和したまちづくり事業費	予算額	6,027,000円	決算額	3,052,219円
VI 個性と魅力が輝くまちづくり事業費	予算額	12,093,000円	決算額	10,515,283円
VII 参加と協働による市民自治のまちづくり事業費	予算額	10,989,000円	決算額	8,428,473円
VIII その他経費 共通事務経費	予算額	657,000円	決算額	429,314円
緊急対策事業費	予算額	3,821,000円	決算額	0円
合計	(予算額)	55,785,000円	(決算額)	43,681,392円